

# Wakayama Jonan Rotary Club

Rotary



2025-2026 Club Weekly

No.1702 2026年1月22日(木)

事務所 ☎640-8215 和歌山市橋丁23(N-4ビル2F)  
TEL(073)432-1615 FAX(073)423-4002  
E-mail: wa.jonan@nifty.com

例会会場 ☎640-8262 和歌山市湊通り北2丁目1-2 アパロム紀の国  
TEL(073)436-1200

例会日時 毎週木曜日 18時30分～19時30分

会長	浦口英尚	クラブ奉仕	川崎行彦
幹事	武野英紀	職業奉仕	宮本政幸
直前会長	堂西誠治	社会奉仕	北村恒男
会長エレクト	武野英紀	国際奉仕	曾和勝彦
副会長	前田浩二	S. A. A.	大塚侑子
		副S.A.A.	山縣里帆
		会計	溝上裕章

国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツォ  
第2640地区ガバナー  
北野治義

2025～2026年度  
RI会長メッセージ

**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことのために手を取りあおう

◆本日のロータリーソング 奉仕の理想

**1月 職業奉仕月間**

**本日のプログラム**

★外部卓話

「掃除でつながり、広がる」

NPOクリーン&コネクト和歌山  
代表 幸前青空様

**次週のプログラム**

★クラブフォーラム

「下半期クラブ協議会(1)」

〈全員参加型〉

クラブ奉仕部門・会計各委員会 委員長

\*上半期の活動報告と下半期 活動計画の発表

\*今年度財務 中間報告

●先週の例会記録

令和8年1月15日(木)

- 出席報告(会員数38名) 出席規定適用免除会員 10名  
1月15日 出席20名(内◎4名)  
ホームクラブ出席率 62.50%
- 個人寄付 [米山奨学会] 塩崎 憲、山本好信 会員

**会長報告**



会長 浦口英尚

今日は「年男の今年の抱負」を述べていただきますが、大桑会員のお話を伺うまえにお年をきき、思わず驚かされました。なんと84歳。これまでに三度の大病を経験されているとは思えないほどお若く、そしてとてもお元気で、そのお姿は私たちの大きな励みになります。ぜひ見習っていききたいと思います。



今年還暦の山井会員(左)と東会員(右)にお祝い

●出席率向上の為、下記会場にてメーキャップお願い致します。

RC名	和歌山北	和歌山アゼリア	和歌山	和歌山西	和歌山東南	和歌山東	和歌山中	和歌山中
例会場	ダイワロイネットホテル和歌山	アパロム紀の国	ダイワロイネットホテル和歌山	サンプレストビル2F	アパロム紀の国	ダイワロイネットホテル和歌山	ダイワロイネットホテル和歌山	ダイワロイネットホテル和歌山
曜日	月	月	火	水	水	木	金	金
時間	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30*	12:30	12:30	19:00

※第1・2回は18:30～19:30 第3・4・5回は12:30～13:30

**幹事報告**



幹事 武野英紀

- ①還暦御祝…商品の到着が間に合いませんでしたので、のちほど「目録」をお渡しします。
- ② [例会臨時変更のお知らせ]

和歌山アゼリアRC…2月2日(月)は、18:30～魚彩酒(うたげ)で「移動例会&グルメ会」に変更

**委員会報告**

■ロータリー情報委員会 (東 徹委員長)

本年度第2回I.D.M.の開催よろしくお祈いします。  
開催期間: 2月18日(水)まで  
発表: 2月19日(木)例会場にて1～4班



■広報・雑誌委員会

(山縣里帆委員長)

ロータリーの友1月号の記事の読みどころ紹介。

**ニコニコ箱**

大桑増嗣会員…年男です 山井忠治会員…本日の卓話宜しくお祈いします 東 徹会員…本日の卓話よろしくお祈いします 前田浩二会員…祝 還暦。 宮本政幸会員…年男の皆様卓話よろしくお祈いします 東 直樹会員…年男 卓話 楽しみにしてます。 岡本昌也会員…年男、卓話楽しみにしてます。 部家安有美会員…本日年男の皆さん、卓話楽しみにしてます。 浦口英尚会員…本日、年男の方、宜しく御祈い致します。 武野英紀会員…年男の皆様 おめでとう!!

合計¥23,000 累計¥580,000

「年男 今年の抱負」

大桑 埴 嗣 会員

(職業分類：スーパーマーケット)



今年三月一日で八十四歳になります。おかげさまで毎日毎日を健康で元気に過ごさせていただいています。最近では城南ロータリーには出席できていませんが、ゴルフのコンペには、出来るかぎり参加しています。この年になりますと、一番大切なのは、明るく元気な生活を続けることだと考えています。その為には毎日歩くことが一番だと思ひ、毎日一万歩以上は歩いています。週に二・三回はゴルフをやっています。五十六歳で肺ガンが会社の検診で見つかり、日赤和歌山病院で手術をしてもらいました。早期ガンでしたので、無事元気になりましたが、その時に社長を辞任して会長に就任しました。そこで元気で健康な生活をする為にゴルフをやり始めましたが、六年前に食道ガンにかかり、治療方法をどうするか、ずい分考えました。和歌山医大病院に娘の旦那が准教授でいましたので相談した所、食道ガンの大変良い先生がいるので早急に手術をしたほうが良いのではないかとアドバイスをいただき、手術をしてもらうことを決断しました。大変な手術で、六ヶ月間は入院を余儀なくされましたが、無事終わることが出来ました。健康を取り戻すことが出来ました。手術前まではお酒が大好きで、毎日、日本酒か赤ワインを飲んでいましたが、手術後はビールをコップ一杯飲むとふらふらになり、お酒が飲めなくなりました。ショックでしたが、健康で元気を取り戻す為には、やむを得ないと判断し、それからお酒をやめました。これからも健康で明るく元気な生活をする為にも、出来るかぎり、ゴルフを楽しみながら生きて行こうと、週に二・三回のゴルフを存分に楽しんでやっています。城南ロータリークラブのゴルフコンペも非常に楽しみにしていますので、皆さんよろしくお祈りします。今年も一月一日には、子供三人と孫八人が集まって、新年会が出来ました。皆喜んでくれたので、これからも元気で生きていこうと思ひました。

「昭和8年の暖簾を背負って  
一還暦から目指す、創業100年への道」

山井 忠 治 会員

(職業分類：レストラン)



皆様、あけましておめでとうございます。本日は新春一番の例会にて、年男として卓話の機会をいただき、誠に光栄に存じます。私は今年、五度目の午年、すなわち「還暦」という大きな節目を迎えました。一巡りして初心に還るこの年、古い皮を脱ぎ捨てて生まれ変わったような、清々しい心地よさを感じております。午年は「物事がうまく(馬く)いく」と言われる縁起の良い年です。還暦の「赤」が象徴する情熱を胸に、軽やかに、かつ力強く駆け抜ける一年にしたいと考えております。私が営む洋食店「レストラン フライヤ」は、昭和8年に創業いたしました。この店は妻の実家が代々守り続けてきた家業です。昭和、平成、令和と時代を繋いできたこの暖簾を引き継いだ時の責任の重さは、今でも鮮明に覚えています。先代から受け継いだ「ドビソース」は、毎日継ぎ足しながら90年以上守り続けてきた、まさに「店の命」です。妻が大切にしてきたこの味と歴史を、私の代で途絶えさせざるわけにはいかない。その一心で、今日まで厨房に立ち続けてまいりました。さて、これからの私の最大の使命は、このバトンを次代へ繋ぐことです。現在、息子が私の背中を追い、修行に励んでおります。飲食店は、朝の仕込みから夜の片付けまで地道な作業の積み重ねです。毎日同じ味をお出しし続けるには、それなりの気力と体力が欠かせません。時には息子と意見が合わないこともありますが、それは彼が店の将来を真剣に考えてくれるからこそだと、今は頼もしく感じております。私たちの店は、あと数年で創業100周年を迎えます。「還暦から隠居」という気は毛頭ありません。私の目標は、100周年を現役の料理人として、息子と共に迎えることです。最高の状態で息子にバトンを渡すその日まで、私は生涯現役のつもりで、全力で併走を続けてまいります。ここで、長年支えてくれた妻へ一言感謝を伝えさせていただきます。私が料理に没頭できたのは、実家の家業を私に預け、一

番近くで支え続けてくれた妻がいたからです。彼女は私にとって、苦楽を共にしてきた最高の「同志」であり、この道を歩んできた「戦友」でもあります。還暦という節目に、改めて「いつもありがとう」と感謝を贈ります。ロータリーの精神である「超我の奉仕(ちょうがのほうし)」。それは商売においては「お客様の喜び」であり、家庭においては「預かった家業を守り抜くという献身」であると、ようやく腹に落ちてまいりました。還暦という門出、感謝を胸に、そして「創業100年」という大きな夢に向かって突き進んでまいります。皆様の事業のご発展とご多幸を祈念し、新年の抱負とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

「年男 今年の抱負」

東 徹 会員

(職業分類：施設管理)



遂に私も今年、60歳還暦を迎える年となりました。私は、『丙の午』の生まれです。皆様ご存じの通り60年に1度周ってくるレアな干支でございます。その昔は、丙午の女性は様々な災いを招くと言われ出生を控えられた干支でございます。勿論、それは迷信では御座いますが、私が生まれた1966年も出生者数はその前後年と比べますと大幅に減少しております。そもそも江戸時代に(八百屋の娘、お七さんが恋人に会いたい一心で放火した)この事件がその後、永年に続く迷信へと繋がったとされています。少子高齢化、人口減少が囁かれる昨今です、2026年の今年の出生率には関係なくなっていると思う願いたいものです。本日は、年男の『抱負』を卓話しなさいと言う事で皆さんには私のくだらないお話にお付き合い頂いてますが、普段私は知的に綿密に計画的に行動をするタイプの間人では御座いません。どちらかと申しますと自分の五感を信じてバランスよく感覚で行動している人間ですので、こうして改めて、決意や計画・目標達成に向けたプロセスを述べると言うのは非常に苦手でございますが、いい機会と捉えて歩んできた60年を振り返りながら残された時間をどう生きて行くのかを考えて見ました。歩んできた60年の間には、順調に歩んでこられた皆様方からはご想像もつかない様な奇想天外な人生でした。パソコンやタブレット・携帯電話・コンビニすらない時代から、AI(人工知能)が活躍する今日まで、昭和・平成・令和と三つの時代を歩ませて頂いて、その時代の変化を楽しませてもらっています。(令和に入ってから余りの時代の進歩についていけませんけどね!)また、それとは逆にYouTubeなんかで昭和時代のCMや古い映画(寅さんの男はつらいよ)とか見ていると何か懐かしさを感じて癒されている側面もあります。これから先、もうそう長くはない人生が終焉するまでは、やっぱり皆さん幸せに生きたいですね。僕は、幸福の基準には2通りあると考えています。一つは、『相対的幸福』これは、アイツより良い車に乗りたいとかアイツより大きな家に住みたいとか、あの会社より大きくしたいとか言うように相手と比較して幸福を得るものです。もう一つは、『絶対的幸福』こちらは、今自分は何をすれば楽しいか、今自分は何をしたいか、今自分は何を食べたいか、そう言う自己の幸福です。若い時、40代位までは前者の『相対的幸福』を追いかけ望んでいましたが、50歳を過ぎた頃からは、いつの間にか『絶対的幸福』と健康志向に自分では激変しています。仕事面に於いても、自分が仕事をこなすから、仕事をこなしてくれる人を作る或いは仕事をこなせる組織・体制を作るに変化しています。それによって、次の世代にバトンを渡し易くなるんじゃないかと思うのと同時に自分自身に残された人生の時間を有意義に過ごせるとそう思っています。抱負としては、絶対的幸福を追い求めつつ  
一、人生の足跡(生きた足跡)残す。(子どもに)  
二、国内・海外問わず色々な所に行ってみたい  
三、趣味を謳歌して友人を増やす  
ここから先の人生を楽しむには、一番は健康な体と必要最低限の経済力・そして一番なくてはならないのが、一緒に余生を楽しむ友達です!なので皆さん健康で長生きしてください!ご清聴ありがとうございました。